

## 令和4年度 第28回「旭地区 まちづくり会議」概要

日 時：令和4年9月27日（火） 10：00～11：00

場 所：旭公民館

参加団体等：地区振興協議会、旭公民館運営審議会、町内会理事、社会福祉協議会、体育協会、親和会、防犯協会旭支部、交通安全協会旭支部、松北商工振興会、旭寿会、健康クラブ、旭丘小学校PTA、東宮永子ども会、あさひ荘苑子ども会、町会連合会理事、公民館長など

### 発言【1】

旭丘小学校から高速道路下を通り「ホクショー(株)白山工場」に抜ける道路の道幅が極端に狭くなっています。特に高速道路下トンネルは、午前7時から8時半は通行止めになっており、その時間帯は、工業団地に通う従業員が一番利用したい時間帯で、通学路にもなっていて非常に危ない。地域住民も不便に思っている。何とか将来的に事業化できないか。

#### 【市】

地域で対策を考える際、公安委員会と連携して、一方通行にして安全に通れるようにする等が、先ず応急措置として考えられると思います。

または、安全を優先し遠回りをするなど、工業団地と地域の方々に、市も入り一度話し合いの場を持つのも良いと思います。車を通しながら児童の安全を考えるというのは難しい問題です。

### 発言【2】

(1)旭地区の念願でありました児童センターが、埋蔵文化財の調査で半年ほど遅れるという連絡をいただきました。どれぐらい工期が伸びるのか。

(2)設計図ができた時点で見せていただき、地域から要望を出して、直せる部分を直してほしい。そのような対応が可能なかどうか。

#### 【市】

(1)埋蔵文化財の調査に3～5か月余りかかると思われるので、着工、完成も半年程度遅くなり、オープンは令和6年春頃の予定になります。

(2)設計が決定する前に、地区の皆様説明する機会を考えており、地区と連携をとりながら、事業を進めていきたいと考えています。

(旭地区振興協議会会長へ連絡済)

### 発言【3】

現在、「白山検定」には通常コースと初級コースがありますが、小学生向けの「キッズ検定」を加えてはどうか

#### 【市】

「白山検定」は、歴史に限らず白山市の多岐にわたる分野から出題しており、小学生にとってはかなり難しいと思います。

令和4年度、白山検定実践問題集を作成し、販売を開始するので、この問題集で授業前の自習時間や休み時間に楽しく活用し、白山市を知っていただきたいと思います。

(10/21 から白山検定実践問題集を市観光連盟や書店で販売しています。)

### 発言【4】

民生委員は、子どもを見守るという仕事を市から依頼されておりましたが、見守りだけでは、ヤングケアラーを見つけるのは非常に難しいです。市で発見するような対策はあるのか。

#### 【市】

子どもの気持ちを受け止め、支援機関につなぐ相談窓口としては、子ども総合相談室が対応しております。

当事者からの相談や、民生委員さんをはじめ、近隣や学校等、関係機関からの情報提供により、ヤングケアラーとなる恐れがある家庭を発見したときには、子ども総合相談室や、スクールソーシャルワーカー等が教育、福祉、介護、医療等、様々な分野、専門機関と連携を深め、早期発見、早期支援につなげられるよう努めております。

併せて、ヤングケアラーの認知度を高めるための啓発として、広報や会議等で、周知を行い、また、子どもの気持ちを受け止める相談機関を周知するため、毎年、電話相談カードを、市内全児童生徒に配布するなどの取り組みを行っております。

また、旭地区は人口が増加している地区になりますので、民生委員児童委員と福祉協力員が連携し活動いただければと思います。福祉協力員については、概ね50世帯に1人を目安に設置していただいておりますが、町内会の実情により必要と思われる人数を町内会をとおして推薦していただくことが可能となっております。

## 発言【5】

中学校の部活動について、地域に移行するとなると、指導者の問題や保護者の負担増加などいくつかの問題があると思いますが、どのような方向性でいくのか。

### 【市】

現在、より多くのご意見をお伺いしながら準備を円滑に進められるよう、白山市部活動地域移行協議会を設立する準備を進めているところです。

この協議会で市の地域移行の方向性を定められればと考えています。

また、国や県の動向を注視するとともに、ご指摘のあった地域移行に向けた心配な点を国や県に対して要望を求めていく所存です。